



磯田 絢吾 くん
「外遊び大好き！」
(荒川賢川)



高橋 美音 ちゃん
「我が家で一番の
食いしん坊娘です！」
(久那)



伊古田 湊斗 くん
「いつもいっぱい
食べてます！」
(伊古田)



町田 果野 ちゃん
「にいに、ねえね
大好き♡」
(寺尾)



応募方法

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

芝桜の丘(羊山公園)で植栽活動
(皆野高等学校)



4月の初めに、皆野高校の生徒たちが芝桜の丘(羊山公園)の花壇で植栽活動に取り組みました。お客様に楽しんでいただくために「54MHS(皆野高校54周年)」の花文字が見えるように工夫しました。本校4つの校訓のうち「協力」と「奉仕」の精神を高める、大変良い機会となりました。

祭の湯マルシェでイノシカバーガー完売

ゴールデンウィークに入ってから皆野高校の生徒がジビエ素材を用いた限定商品『イノシカバーガー』の販売実習に取り組みました。

当日は80個の商品を仕入れ、祭の湯マルシェの一角を販売所としてお借りしました。大型連休ということもあってたくさんのお客様に立ち寄っていただき、励ましのお声がけをいただきました。おかげさまで商品もあっという間に完売し、大変貴重な実習体験をさせていただくことができました。



関係者の皆さんには心より感謝申し上げます。

市民文芸

俳句

関田 誓炎 選

静けさにぎぼし咲く溪鳥の声	鶯の声父逝きし日を想う	暈目を追いて伸びくる春入日	母と子の歌声もれて雛の窓	ゆづり葉の古葉の落ちて地虫出づ	介護士のやさしさに泣く花の冷え	句の師逝き春雪重く身をつつむ	肩の荷を下ろす思いの更衣 <small>ころもがえ</small>	老梅や遠退く昭和懐かしく
上町 濱田 秀典	日野田町 高橋 利子	黒谷 榎本 久	上野町 櫻井 照子	永田町 栗原 昌次	中村町 橋本 和子	久長 齋藤 大仙	阿保町 澤口 トヨ	小柱 設楽 キマ

〔評〕設楽さんは、長い年月を経た「老梅」に昭和の懐かしさを感じ、澤口さんは「肩の荷を下ろす」と衣更えの安らぎを、齋藤さんは「春雪重く身をつつむ」と師の亡き後の不安な真情を詠んだ。橋本さんは、花冷えの介護施設だが安らかに生活している。栗原さんは、古葉を落として新しい葉をだす「譲り葉」と虫が冬眠から覚めて巣穴から出る「地虫出づ」の二つの物を取り合せて、春到来の喜びを表現した。櫻井さんは、雛祭りの母と子の仲むつまじい姿を、榎本さんは暈表の編み目を春の入口が奥へ奥へと行く様子を、高橋さんは、鶯の声を聞いて父を偲び、濱田さんは、ぎぼしの咲く静かな春の溪の爽やかな鳥の声を愛でている。

※次回7月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 6月末締切→8月号に掲載

短歌 7月末締切→9月号に掲載